

名古屋市
農地バンク制度



- ★耕作に苦勞しているみなさま・・・
あなたの農地 貸して活かそう！
- ★経営規模を拡大したいみなさま・・・
耕す農地 借りて増やそう！

どちらの方も、**名古屋市農地バンク**をご利用ください



- ◎貸したい方は、農地の情報や貸出条件などを登録します。
- ◎借りる方は、農業経験者で農業委員会の承認を受けた方となります。農地の情報をもとに、貸したい方と個別に交渉を行います。
- ◎市民農園の開設者・管理者を探すこともできます。

登録できる農地 どんな農地でも登録できます。

ただし、借り手が見つかるまでは農地所有者が農地として適正に管理していただく必要があります。

詳しくは、名古屋市公式ウェブサイトをご覧ください

名古屋市農業委員会だより 第8号

令和4年8月発行



《名古屋市農業委員会から市長へ意見書を提出しました》

会長の挨拶

名古屋市農業委員会 会長 岩田 公雄



盛夏の候、皆様方におかれましては、コロナ禍の終焉が見通せず、また、東欧での軍事侵攻による食糧の安全保障が気がりとはいへ、日々農作業に励んでおられることと、お慶び申し上げます。

さて、いわゆる生産緑地の2022年問題、すなわち生産緑地の指定を受けて30年が満了することによって生じる諸問題も、「特定生産緑地」指定申出によって、およそ、筆数で4,000筆、面積で190ha強、80%強が、今後10年間、従前通り、農地を維持することができるようになりました(10年毎に更新)。市内3農協はじめご協力賜りました皆様に、御礼申し上げます。

また、農地の集積・集約を進める「人・農地プラン」についても、中川区の福島地区、供米田地区、包里地区で、新たにまとまりました。

ところで、令和2年度の統計では、農地面積1,119ha(田594ha、畑526ha)、農家数2,791戸、農家人口10,639人となっています。市内産のおもな農産物は、米453ha、2,320t、約3億7千万円、野菜71ha、2,207t、約5億7千万円、果実28ha、332t、約1億8千万円が生産されています。名古屋生まれの伝統野菜には、「八事五寸にんじん」「野崎白菜2号」「大高菜」「愛知大晩成キャベツ」があり、市内で生産された野菜を「なごやさい」と呼んでいます。なごやさいは、JA天白信用天白グリーンセンター、農業センターdelafarm内売店「なごやか市場」、戸田川緑地内「とだがわ陽だまり館」で販売されています。また、朝市、青空市、直売所などで購入することもできます。

おわりに、農業を取り巻く環境は厳しく、さまざまな苦勞がありますが、農業委員・農地利用最適化推進委員は、農家・市民と行政をつなぐものとして、都市農業の活性化に取り組んでおります。今後とも、皆様のご理解とご協力をお願い致しまして、ご挨拶とさせていただきます。

知って得する！ 農業者年金

農業者の方は、国民年金の上乗せの公的な年金「農業者年金」に加入して安心で豊かな老後を！

農業者なら誰でも入れる「**終身年金**」です！

一定の要件を満たす方には、
月額最大**1万円**の保険料補助

加入で大きな節税効果！
保険料は**全額社会保険料控除の対象**

- ※農業者年金の加入には、
「国民年金第1号被保険者であること」
「年間60日以上農業に従事していること」
「60才未満であること」
の3つの要件を満たしている必要があります。
- ※詳しくは、お近くの農業委員会、又はJAへ！



終身年金で安心！

詳しくは...
<https://www.nounen.go.jp>

編集委員

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 原田 晴 充 | 阪野 文 明 | 木村 幸 廣 | 大島 誠 |
| 布目 巳佐子 | 横井 昭 男 | 野間 利 和 | 安井 勝 春 |

○「緑区大高産ブロッコリー」 原田晴充（緑区）

販売目的でのブロッコリーの作付面積は、「2020 農林業センサス調査」によると緑区大高地区が市内の5割強を占めています。

昭和43年頃から栽培され、試行錯誤しながら農業や化学肥料を減らす努力がされてきました。出荷は共同で行われていますが、当初50人いた農家も高齢化が進み、現在は10人ほどに減少しました。出荷時には、手間はかかるが鮮度を長持ちさせるためにタテにして箱詰めしています。大高産は美味しいと地元消費者の方にも大好評です。

また、地産地消の取り組みとして、市内の小中学校にも給食用としても出荷されており、地元産野菜を子ども達にも提供されています。機会があれば、みなさんも一度ご賞味ください。



ブロッコリー畑

品評会

○「天白区農産物品評会・農業まつり」 阪野文明（天白区）

令和3年12月6日・7日名古屋市農業センターで開催されたセンターまつりに続き、12月10日に天白区農産物品評会、12月11日に農業まつりが2年ぶりに開催されました。

毎年、天白区役所で開催されていましたが、コロナの影響を受け、天白信用農協グリーンセンター駐車場・文化会館を使用して行われました。担当者は、来場者がたくさん足を運んでいただき、喜んで帰られることを願い、知恵を絞って、開催の成功を願い段取りをしました。

出品物は天白区内で採れた野菜で、八事五寸人参・ネギ・ハクサイ・ダイコン・ブロッコリー・芋などが生産者から提供されました。

後日、組合長から「毎年楽しみにしている方々もいらっしや、大変喜ばれて買い物をしていました」と評価され、コロナ影響の中、開催できてよかったと思いました。

西部・守山 地区

○令和3年度守山区農産物品評会

令和2年度はコロナウイルスのために中止になった守山区の農産物品評会が令和3年12月上旬に JA 守山東支店で開催され、後日、守山区役所で表彰式が行われました。

今回の品評会はコロナウイルスの感染防止対策として、出品物の受付時間や展示品の見学時間を地域別に分けたことや、表彰式を簡素化したことなどによって、人が密とならないように工夫されていました。

特選を受賞した農産物



美味しそう

そんな中、出品された農産物は丹精こめて作られたものばかりで、手芸品においても手の込んだ丁寧な作品が多数ありました。守山区品評会の特色として、紅くるり大根の出品が多かったことが印象的でした。

表彰式では、白菜を出品された永谷さんが名古屋市長賞を受賞されました。永谷さんをはじめ、受賞者のみなさん、おめでとうございます。また、出品された農産物は、守山区役所などで地産地消のPRとして来庁者に配布され、受け取った皆さんに喜んでいただきました。

今後も品評会が名古屋の農業の発展に寄与することを願ってやみません。



農業委員会会長も
見学に行きました

紅くるり大根



名古屋市長賞

受賞された永谷さん

○～中川区福島地区で人・農地プランが作成されました～

人・農地プランとは、地域の農業者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加など「人と農地の問題」を解決するため、5年後、10年後の地域農業を担う経営体を決めるものです。

中川区福島地区は、海部郡蟹江町に隣接する市街化調整区域（農業振興地域）の地区であり、地元の農家が代々、水田として守ってきました。しかし、高齢化のため農作業ができず、後継者のいない世帯が多数存在するなど課題を抱えておりました。



こうした地域の課題を解決するため、昨年春頃から西福田土地改良区の福島工区の方々が中心となって地域への声掛けや話し合いを行いました。その結果、耕地面積約9.7haのうち約8.7haが令和4年より新たな担い手によって耕作されることとなりました。



港 地区

○軽トラ × 野菜マルシェ開催（主催：戸田川緑地管理センター）

令和3年7月3日、11月27日農業文化園(芝生広場東・南地区園路)において、今回も港区と中川区の生産農家協力のもと旬の野菜等が種類豊富に数多くの軽トラ売店で販売されました。購入者からは「生産者から美味しく食べるレシピも教えてもらえて良かった」と大盛況の「来て見て楽しめる軽トラマルシェ」でした。

次回開催予定日は令和4年6月25日(土)、11月26日(土)です。

令和3年7月3日
開催のようす



【お目当ての野菜を買い求める来場者ら】



令和3年11月27日
開催のようす

